令和２年度（三浦初声高等学校）不祥事ゼロプログラムの検証等

○　項目・目標別実施結果

項目		目　標	実施結果と目標の達成状況
1	法令遵守意識の向上	教育公務員としての自覚を持ち、公務・公務外を問わず県民から信頼される行動をとる。	不祥事防止啓発資料の活用や事故事例の提示によって、職員の意識の向上に繋げることができた。また、保護者対応についてもきめ細かく行い、信頼を得ることが出来ている。
2	わいせつ・セクハラ行為及びパワハラの防止	わいせつや、セクハラ行為やパワハラの発生を未然に防止する。	セクハラやわいせつ行為については、事故事例を朝の打ち合わせなどに掲示や管理職からの話の中で触れ未然防止に繋げた。また、教育長講話を各自が視聴し、未然防止に対する意識を高めた。
3	体罰、不適切な指導の防止	日常の教育活動において、生徒の人権に十分配慮した指導を行う。	生徒からのアンケートを実施し、職員の日頃の行動の振り返りを行った。アンケート結果は概ね良好であるが、尚一層、職員の言動に気を付ける必要性を感じている。
4	入学者選抜、成績処理及び学進路関係書類の作成及び取扱いに係る事故防止	入学者選抜、履修指導・登録・成績処理等、学務管理上の業務及び調査書等のミスを未然に防止する。	各種のマニュアルに従い、ミスのない入学選抜業務が実施できた。 進路関係においては、ヒヤリハット事象があったが、マニュアルを改善し情報の共有化を徹底し業務改善に努めた。
5	個人情報等の管理、情報セキュリティ対策	個人情報の流出を未然に防止する。	職員啓発資料を基に職員会議冒頭に個人情報保護の徹底についての研修を２回行い、職員の意識の向上を図ることができた。
6	交通事故防止、酒酔い・酒気帯び運転防止、交通法規の遵守	教育公務員として、交通法規を遵守し、県民から信頼される行動をとる。	職員啓発資料を基に１２月の職員会議冒頭に交通事故防止の観点から研修を行い、職員の意識の向上を図ることができた。
7	会計事務等の適正執行	適正な私費の徴収・執行を行う。	私費会計担当者対象に注意喚起を行った。また、業者選定委員会を適切な時期に適切に開催することが出来ている。

○　令和２年度不祥事ゼロプログラム全体の達成状況と令和３年度に取り組むべき課題

（学校長意見）

月１回開催される職員会議の冒頭に事故防止会議を開催し、職員の事故防止に対する意識を高め、継続させる取組みを行うとともに、日頃より振り返りを行うことによって、個人の行動を律する機会を設けることを重点に、今年度のゼロプログラムを実施した。結果として、昨年度のような個人情報保護に関する重大事案は無くなったものの、ヒヤリハット事象は起こっており、さらなる業務の改善やチェック体制の在り方を考えていく必要性を感じている。

・令和３年度に取り組むべき課題

事故防止の意識を継続させることを重点的な課題として令和３年度も取り組みたいと考えている。また、職員同士がお互いに注意しあえる、指摘しあえる意識の醸成にも取り組んでいかなければならない。そのために、お互いの同僚性を育み、今以上に風通しの良い職場環境づくりを目指し、取り組んで行きたいと考える。